

ほっとサロン虫Ⅰ_{にじ}

通信

2019. 6. 21

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、
相談したいことなど、お話ができる場です。

今回のテーマ 『化学療法の副作用と 上手に付き合っていこう』

～みんながどんな工夫を
しているか聞いてみよう～



講師：東 直美
がん化学療法
看護認定看護師

記：医療社会事業専門員
岡田 瑞歩

昨年度も沢山の方に参加頂いたこともあり、今年も当院の東 直美がん化学療法看護認定看護師を講師に招き、化学療法の副作用との付き合い方について参加者の皆さんと情報交換をしました。

東認定看護師からは、化学療法の副作用によって生じる便秘や神経障害、脱毛、皮膚や爪の障害について、どのような薬に出やすいのか、またそれらに対する対処法やケア方法について紹介がありました。

化学療法を受けられている方の中には、便秘に悩まされている方も多いと思います。抗がん剤だけでなく、一緒に使うお薬にも便秘を起こしやすいものがあります。便秘にならないようにするには水分や食物繊維の摂取等、食生活の見直しと緩下剤を上手に使うことで排便をコントロールする方法の紹介がありました。緩下剤を飲んで下痢になるのではないかと不安に思われる方もいらっしゃると思いますが、そんな時は看護師に相談してください、とのアドバイスがありました。

また皮膚や爪の障害に対する基本のケアとして、正しい保湿の方法を参加者の皆さんと実際に体験しながら確認することができました。爪に関してはマニキュアで補強することも

できるため、爪にやさしいマニキュアを実際に塗ってみて、塗った感覚や発色を皆さんと共有しました。マニキュアを塗ると爪の変色をカバーできるだけでなく、手元が明るくなることで心まで明るくなるように感じました。

参加者の皆さんと賑やかにネイルをしている時間は私自身とても楽しく、エネルギーを貰ったように思います。皆さんもぜひ治療の合間にサロンへお越し下さい。



独立行政法人 国立病院機構
岩国医療センター

【お問合せ先】 地域医療連携室 0827-35-5645